

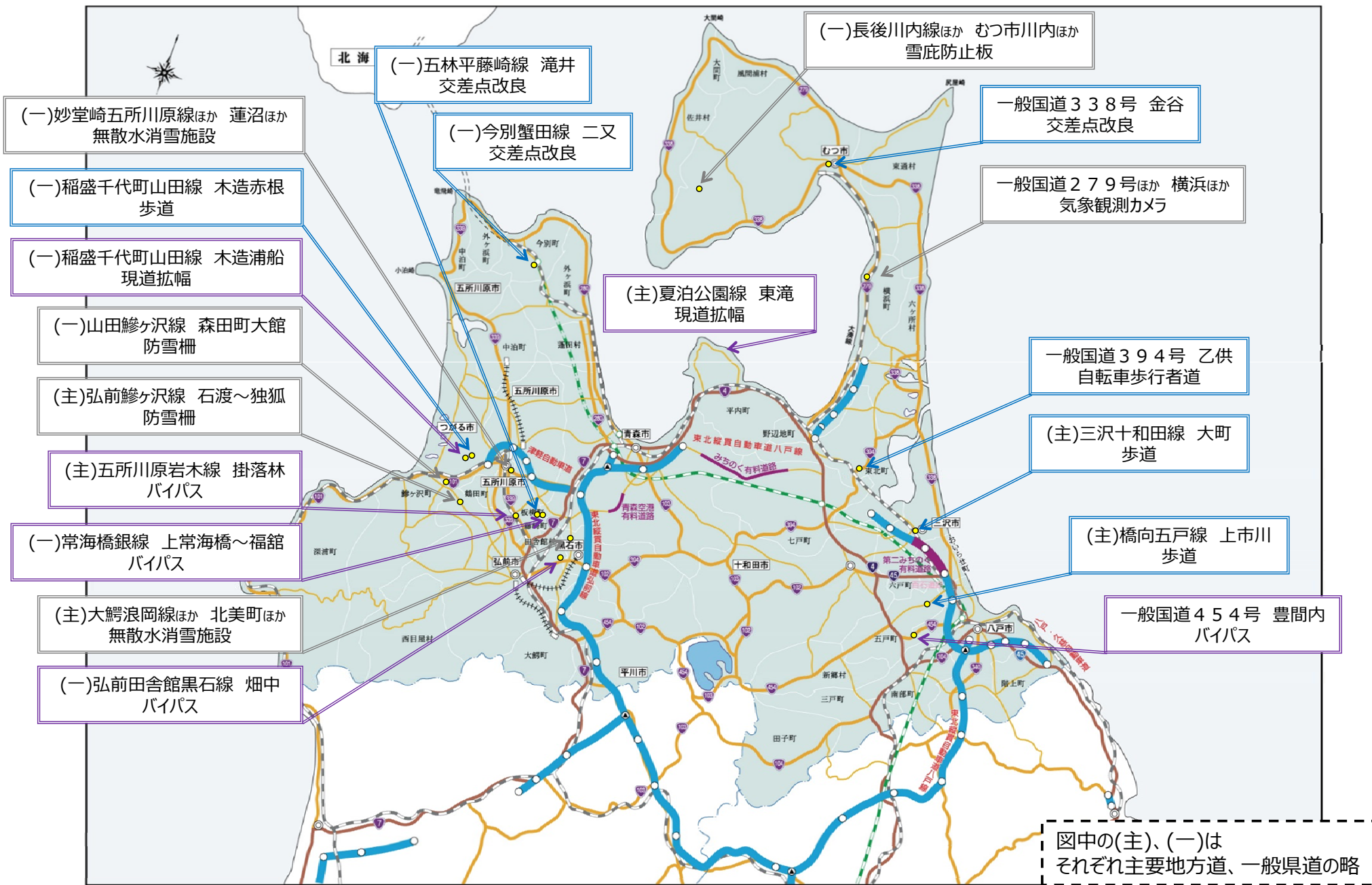
平成27年度 主な供用開始事業 一覧表

【青森県道路課】

工種	路線名	工区名	市町村	事業内容	延長(m)等	事業着手	県民局
改築事業	一般国道454号	豊間内	八戸市～五戸町	バイパス	3,300	H19	三八
	(主) 夏泊公園線	東滝	平内町	現道拡幅	1,200	H10	東青
	(主) 五所川原岩木線	掛落林	板柳町	バイパス	920	H17	西北
	(一) 常海橋銀線	上常海橋～福舘	板柳町～藤崎町	バイパス	1,400	H16	西北～中南
	(一) 稲盛千代町山田線	木造浦船	つがる市	現道拡幅	1,180	H24	西北
	(一) 弘前田舎館黒石線	畑中	田舎館村	バイパス	1,500	H16	中南
交通安全事業	一般国道338号	金谷	むつ市	交差点改良	200	H25	下北
	一般国道394号	乙供	東北町	自歩道	764	H19	上北
	(主) 三沢十和田線	大町	三沢市	歩道	80	H25	上北
	(主) 橋向五戸線	上市川	五戸町	歩道	1,250	H22	三八
	(一) 五林平藤崎線	滝井	板柳町	視距改良	180	H26	西北
	(一) 今別蟹田線	二股	今別町	交差点改良	200	H24	東青
	(一) 稲盛千代町山田線	木造赤根	つがる市	歩道	260	H25	西北
雪寒事業	一般国道279号	横浜ほか	横浜町	気象観測カメラ	4基	H26	上北
	(主) 大鰐浪岡線ほか	北美町ほか	黒石市	無散水消雪施設	7箇所	H26	中南
	(主) 弘前鱒ヶ沢線	石渡～独弧	弘前市	防雪柵	700	H26	中南
	(一) 妙堂崎五所川原線ほか	蓮沼ほか	五所川原市	無散水消雪施設	2箇所	H24	西北
	(一) 長後川内線ほか	むつ市川内ほか	むつ市	雪庇防止板	7箇所	H25	下北
	(一) 山田鱒ヶ沢線	森田町大館	つがる市	防雪柵	200	H25	西北

平成27年度 主な供用開始事業 位置図 【青森県道路課】

 改築事業
 交通安全事業
 雪寒事業



図中の(主)、(一)は
 それぞれ主要地方道、一般県道の略

代表事例

【改築】

とよまない

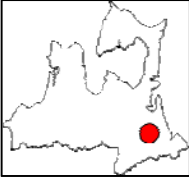
一般国道454号 豊間内バイパス

八戸市～
三戸郡五戸町

三八地域県民局

L=3,300m

社会資本整備総合交付金（復興）



一般国道454号は、八戸市から五戸町を經由し、一般国道4号に至る幹線道路であるとともに、災害時の避難路・物資の輸送路となる重要路線です。
「豊間内バイパス」により人家連担・幅員狭小・線形不良といった隘路区間が解消され、地域間の物流及び交流の円滑化、安全な交通の確保が図られます。



【改築】

じょうかいばしろうがね

かみじょうかいばし

ふくだて

一般県道常海橋銀線 上常海橋～福館バイパス

北津軽郡板柳町
～南津軽郡藤崎町

西北地域県民局
中南地域県民局

L=1,400m

社会資本整備総合交付金



常海橋銀線は、板柳町から青森市浪岡で国道7号に至る幹線道路です。
『津軽横断道路』の一部を構成する「上常海橋～福館バイパス」により、幅員狭小・線形不良といった隘路区間が解消され、地域間の物流及び交流の円滑化、安全な交通の確保が図られます。

※『津軽横断道路』は、青森空港と岩木山麓を直結し、沿線地域の生活や交流、経済や産業活動を支えるほか、観光ルートとしての役割を担う重要な幹線道路です



(株)津軽りんご市場 取締役副社長の話

「運搬時間の短縮でりんご収穫の作業効率が向上し農家の所得も上がるなど、道路整備は産地・市場に大きな影響を及ぼす。『津軽横断道路』は物流体系の再編や交流圏の拡大により農産物や観光等すべてにおいて地域に大きな活力を与えるものであり、早期完成を念願する」

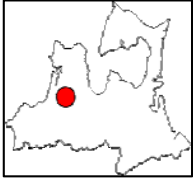
代表事例

【改築】

いせ ちよまち やまだ きづくり うらぶね

一般県道稲盛千代町山田線 木造浦船 現道拡幅

つがる市	西北地域県民局	L=1,180m	防災・安全交付金
------	---------	----------	----------



稲盛千代町山田線は、つがる市柏から、市中心部を經由し、同市森田町へ至る幹線道路です。
「木造浦船工区」にはつがる市役所が立地していますが、幅員狭小のため通行車両のすれ違いが困難で、歩行者等が危険な状況にさらされていましたが、現道を拡幅し、歩道を整備したことで、交通の安全が確保されています。



安全で安心な
道路整備

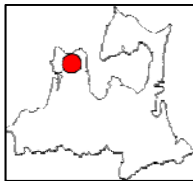


【交通安全】

いまべつかにた ふたまた

主要地方道今別蟹田線 二又 交差点改良

東津軽郡今別町	東青地域県民局	L=200m	防災・安全交付金
---------	---------	--------	----------



今別蟹田線は、外ヶ浜町蟹田から今別町に至る幹線道路であり、沿線には北海道新幹線『奥津軽いまべつ駅』が立地しています。
「二股工区」は新幹線駅への接続部となることから付加車線を設置するなど交差点を改良したことで、駅利用者や通行車両等の交通の安全が確保されています。



今別町観光協会の話
「観光・情報発信の拠点となる北海道新幹線『奥津軽いまべつ駅』と道の駅『いまべつ』への大型バスの出入りも容易になった。観光客増加への足掛かりになるものと期待している」



代表事例

【交通安全】

おっとも

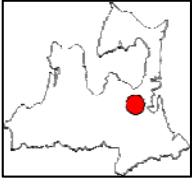
国道394号 乙供 自転車歩行者道

上北郡東北町

上北地域県民局

L=760m

防災・安全交付金



一般国道394号は、むつ市を起点として六ヶ所村、十和田市、青森市などを經由し弘前市に至る幹線道路であり、産業経済及び観光において重要な路線です。学校・病院・公共施設等が立地する町中心部に位置する「乙供工区」は、交通量が多いにも関わらず既存の歩道が狭く、歩行者等が危険な状況にさらされていましたが、自転車歩行者道を整備したことで、通学児童等の交通の安全が確保されています。



東北町立蛭沢小学校校長先生の話
「歩道の整備により歩行者と車両の離隔が確保され、子どもたちが通行車両を気にすることなく、登下校できるようになった」

【雪寒】

みょうどうざきごしよがわら

はすぬま

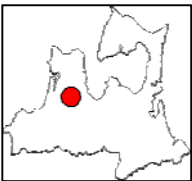
一般県道妙堂崎五所川原線ほか 蓮沼ほか 無散水消雪施設

五所川原市

西北地域県民局

N=2箇所

防災・安全交付金



妙堂崎五所川原線は、鶴田町と五所川原市中心部を結ぶ幹線道路で、「蓮沼工区」は交通量の多い国道101号や国道339号に近接し、五所川原南小学校の通学路に位置しています。冬期間には交差点溜まりスペースの堆雪により車道と段差が生じ、児童等の横断に支障をきたしていましたが、溜まりスペースに地中熱を利用した消雪施設を整備したことで段差が解消され、冬期歩行空間の安全が確保されています。



平和町町内会長の話
「信号待ちの歩道部に雪があると、滑って転んだりして危なかったが、雪が無くなり、子供たちの通学時に安心できるようになった。また、車の運転時、交差点部に雪もりが無く見通しが良くなったことから、交通の安全が確保された」